

3月15日 B01集会プログラム

		タイトル	時間
定常低速変形班（上部地殻，中央構造線）			
竹下 徹	北海道大学・大学院理学研究	断層帯はどのように成長し、どこまで軟らかくなるのか？	9:00-9:30
藤本 光一郎	東京学芸大学・教育学部	中央構造線の破砕帯における水-岩石相互作用と粘土鉱物	9:30-10:00
重松 紀生	産業技術総合研究所・活断層・火山研究部門	Fault trajectory	10:00-10:30
藤内 智士	高知大学・教育研究部自然科	断層帯および周辺域における鉱物脈の方向密度分布の測定：中央構造線の例	10:30-11:00
議論			11:00-11:20
定常低速変形班（下部地殻）			
豊島 剛志	新潟大学・大学院自然科学研	北海道日高変成帯・東南極アピア岩体における上部地殻最下部案件・下部地殻案件の化石震源域と間震期の塑性変形	11:20-11:50
奥平 敬元	大阪市立大学・大学院理学研		11:50-12:00
議論			12:00-12:10
昼休み			12:10-13:10
地震性高速変形班			
小林 健太	新潟大学・大学院自然科学研	鳥取県西部地域に発達する断層と断層岩，マイクロからマクロスケールでの観察と分析	13:10-13:40
廣野 哲朗	大阪大学・大学院理学研究科	摩擦発熱プロキシを用いた剪断帯での滑り挙動の復元	13:40-14:10
亀田 純	北海道大学・大学院理学研究	断層岩の定量分析	14:10-14:40
議論			14:40-15:00
休憩			
地震観測班			
松本 聡	九州大学・大学院理学研究院	中尾茂・大倉敬宏・宮崎真大・清水洋・安部祐希・井上寛之・中元真美・吉川慎・山下裕亮 九州内陸における応力場について	15:00-15:30
酒井 慎一	東京大学・地震研究所	稠密地震観測と最近の複雑な震源分布	15:30-16:00
加藤 愛太郎	名古屋大学・大学院環境学研究科・地震火山防災研究セン	断層面上の構造不均質性	16:00-16:30
議論			16:30-16:50
3.11融合会議を受けた融合研究についての議論	話題提供： 重松・廣野・安藤		16:50-17:30